

日本英文学会東北支部ニューズレター

Newsletter

The Tohoku Branch of the English Literary Society of Japan

2022年6月号 (June 2022)

発行 日本英文学会東北支部 〒960-1296 福島市金谷川1番地 福島大学 人間発達文化学類 高田英和研究室内
TEL: 024-548-8156 E-mail: tohoku@elsj.org URL: <http://www.elsj.org/tohoku/>

支部長挨拶

日本英文学会東北支部長 川田 潤

日本英文学会東北支部は、過去2年間、Covid-19が蔓延する中、従来の対面での活動ができないながらも、様々な新たな試みにより学会活動を行い続け、現在、徐々にですがウィズ・コロナ、ポスト・コロナの新しい学会のあり方が見えつつあります。Webカンファレンス、遠隔同時双方向などの新しい大会形式、メール審議、遠隔同時双方向を利用した各種会議など、これまでは考えもしなかった新たな方法を活用し、時間や場所に縛られない様々なオプションをもった学会のあり方が現在私たちの手にあります。これもひとえに、支部の理事、各委員、事務局の先生方、そして何よりもこのような状況でも研究・交流を続けてこられた会員の皆様の献身的な努力のおかげです。東北支部が、**レジリエントな学会**として、今後もさまざまな新たな試みをし、成長し続けていくことを、この2年間で確信いたしました。

そのような中、本年は**12月10日**に岩手大学で支部大会が予定されています。現段階では、開催形式を検討中ですが、状況が許せば久しぶりの対面で、会員同士の様々な交流が行われることを期待しています。一方、仮に遠隔になったとしても、また新たな試みを加え、有意義な研究交流と意見交換の場となるよう、大会運営を工夫していきたいと思っております。そのために何より必要なことは、**会員の皆様の積極的な発表へのご応募**です。若手だけでなく、ベテラン、中堅の先生方も、ぜひ学会の活性化のためにお力をお貸し下さい。同じく、機関誌『**東北英文学研究**』にもぜひ積極的なご投稿をお待ちしています。とりわけ、新たに**奨励賞**が設定されましたので（詳細はHPをご参照下さい）、ぜひ、若手研究者の方々には積極的に投稿していただければと思います。

現在の理事は、「理事の連続選出の制限に関する申し合わせ」が適用された初めての理事ですが、今年度で2年の任期が終わり、**理事選挙**が行われます。前回同様、今回も複数の理事が「申し合わせ」の適用対象となり、入れ替わることとなります。ベテランの先生方から中堅、より若い世代の先生方が理事となり、様々な視点から知恵を出し、協力し合うことで、長いスパンでの支部活動の活性化が果たされると思いますので、ぜひ**積極的なご投票**をよろしくお願い致します。

最後になりますが、本号のNews Letterは従来通りの郵送に加え、本部にご登録いただいている**E-mailアドレス**にもお送りします。もちろんご希望される方、そして必要に応じて郵送を継続しますが、近年、他支部でもメーリングリスト等を活用した情報共有の試みが始まっておりまして、今後、東北支部も**メーリングリストの活用**を考えていきたいと思っております。ご不便をおかけすることもあるかもしれませんが、どうかご理解をいただければと思います。

東北支部が、より活発な会員同士の交流と意見交換の場となるよう、この1年間、現理事や事務局の先生方と協力しながら、新しい理事、事務局へと橋渡しをするため、力を尽くしたいと考えています。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

入退会手続きおよび会費納入について

全ての東北支部会員の入退会手続きおよび会費納入は、支部事務局ではなく本部事務局を通じて行われることとなります。日本英文学会 HP (<http://www.elsj.org/>) に入退会に関する情報がございますので、ご覧下さい。詳しくは本部事務局 (ejimu@elsj.org) へお尋ねください。年会費は、本部会費 (7000 円) + 支部会費 (1000 円) です。

第 77 回支部大会の開催について

2022 年 4 月 10 日 (日) に第 1 回理事会および大会準備委員会が Zoom を用いて開催されました。審議の結果、第 77 回大会は以下の日程で行われる予定です (大会形式は 6 月末の次回の大会準備委員会で決定します)。

日時：2022 年 12 月 10 日 (土)

場所：岩手大学

※新型コロナウイルス感染症の拡大の状況等により開催に変更が生じた場合には、支部ホームページにて、すみやかにお知らせいたします。

研究発表応募要項

第 77 回大会で研究発表をご希望の方は、(1) 研究発表概要 (2000 字・審査用)、(2) 概要の要旨 (400 字・採用された場合に大会プログラムに掲載)、(3) カヴァーレターの 3 点を 6 月 17 日 (金) までに Word 形式の添付ファイルにして、東北支部事務局 (tohoku@elsj.org) までお送りください。

また、(3) のカヴァーレターは、東北支部 HP (<http://www.elsj.org/tohoku/>) よりダウンロードしたものをお使い下さいますようお願い申し上げます。

シンポジウムについて

第 77 回大会で行われる予定のシンポジウムでは、次のような企画が進行中です。どうぞご期待ください。

◆文学部門：(仮題) ルポルタージュ、フィクション、戦争——1930-40 年代の英語圏文学

司会・講師：川端康雄

講師：松本 朗 三枝和彦

◆英語学部門：ラベル決定アルゴリズムの可能性

司会・講師：戸塚 将

講師：佐藤亮輔 廣川貴朗 堤博一

大会準備委員について

今年度の大会準備委員は以下の会員が務めます。

*** 本年度より英文学部門と米文学部門を統合して文学部門となりました。**

文学部門：

大貫隆史（東北大学：継続）酒井祐輔（宮城学院女子大学：新規）

大野朝子（東北文化学園大学：新規）

英語学英語教育部門：

齋藤章吾（弘前学院大学：継続）深谷修代（新潟食料農業大学：新規）

開催校委員：高橋愛（岩手大学）

編集委員について

今年度の編集委員は以下の会員が務めます。

*** 本年度より英文学部門と米文学部門を統合して文学部門となりました。**

文学部門：佐藤恵（東北福祉大学）三枝和彦（山形大学）、宮澤文雄（島根大学）

英語学英語教育部門：三上傑（大東文化大学）岸浩介（東北学院大学）、廣川貴朗（東北大学）

事務局の体制について

高田英和(福島大学)が事務局長を、川崎和基(日本大学工学部)が事務局長補佐を、佐藤元樹(福島大学)が事務局員を務めております。支部大会開催関係事務と会計を高田が、出版関係事務を川崎が、HP管理を佐藤が担当しております。事務局へのご連絡はEメール（tohoku@elsj.org）をお使ください。

東北支部役員選挙について

今年度は理事改選選挙の年です。2年以上会費が未納になりますと、会員資格を失い会員名簿から削除されてしまい、結果として支部理事選挙に参加できなくなってしまいますので、ご注意下さい。会費未納の会員は、どうぞお早めに納入をお願い致します。支部理事選挙の投票に関する詳細は、9月後半から10月初旬の間に送付される通知をご覧ください。なお、今年度の選挙でも、2019年度の第2回理事会で承認された「理事の連続選出の制限に関する申し合わせ」が適用され、連続8年理事を務めた委員は候補から除外されます。

理事会報告

2022年4月10日（日）に開催された第1回理事会の議事録を掲載します。

日本英文学会東北支部 2022年度第1回理事会 議事録

日 時 2022年4月10日（日）・14:00～15:00
場 所 Zoomによる遠隔会議

出席者：

支 部 長 川田潤（福島大学）
副 支部長 大貫隆史（東北大学）
理 事 大西洋一（秋田大学） 金子淳（三重大学） 木村宣美（弘前大学）
境野直樹（岩手大学） 佐々木和貴（秋田大学） 島越郎（東北大学）
鈴木亨（山形大学） 竹森徹士（宮城教育大学） 福士航（東北学院大学）
事 務 局 高田英和（事務局長） 川崎和基（事務局長補佐）
欠席者： 理 事 境野直樹（岩手大学）

報告事項

(1) 本部理事会報告

本年度全国大会が遠隔開催となったことを確認した。また、2024年度全国大会が東北支部開催、担当校東北大学文学部となったことを確認した。

議事

(1) 2021年度事業報告（資料1）

資料1に基づき、2021年度事業報告があり、承認された。

(2) 2021年度決算報告（資料2）

資料2-1に基づき報告があり、承認された。

(3) 2021年度監査報告（資料2）

資料2-2に基づき監査報告について報告があり、承認された。

(4) 2022年度事業計画について（資料3）

資料3に基づき、2022年度事業計画について説明があり、承認された。

(5) 2022年度予算について（資料4）

資料4に基づく2022年度予算について諮り、了承された。

(6) その他

大西理事より質問のあった支部大会の日程については、事務局から、大会準備委員会での議論を踏まえ、決定次第、速やかに理事にメール及びHPにて会員に周知するとの説明があった。

以上